

## 令和3年度 学習分析事業 改善計画 三原市立深小学校

1. 本年度の結果

①学力定着分析 NRT 偏差値平均 (全国を50とする)

		全体
国語	目標値 偏差値平均	/
	結果 偏差値平均	50.8
算数	目標値 偏差値平均	/
	結果 偏差値平均	49.2
理科	目標値 偏差値平均	/
	結果 偏差値平均	52.6
全体	目標値 偏差値平均	/
	結果 偏差値平均	50.8

2. 調査から明らかになった課題

【年度当初の学力について】(NRTをうけて)	【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて)
<p>●国語では、「目的に応じて工夫して書く」で3学年(3・4・5年)(40.9%)、「考えや感想を持って伝えあう」で3学年(3・4・5年)(39.4%)に課題があった。</p> <p>●算数では、「思考・判断・表現」の問題で全国平均値よりも全学年下回り(41.6%)、領域では、「図形」で2学年(4・5年)(50.4%)、「データの活用」で全学年が全国平均値を下回り、課題があった。(54.9%)</p> <p>●理科では、4年ゴムや風の動き(75.0%)、5年 乾電池の働き(45.8%)、物の温まり方や体積の変化(49.0%)、水の温度による変化(44.0%)が全国平均値より特に低く課題があった。</p>	<p>●国語では、既習の漢字の書き(28.6%)に課題があった。また、文中の修飾と被修飾の関係を捉える(42.9%)ことに課題があった。</p> <p>●算数では、「図形」の領域で(52.4%)、特に「底辺と高さの関係を理解し、三角形の面積を求める」(28.6%)、「データの活用」の領域で「複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目を求める」(28.6%)に課題があった。</p>

3. 課題解決に向けた学校組織全体の重点目標・取組

②全国学力・学習状況調査 正答率平均 (第6学年対象)

教科	国語	算数
目標値 (対県比)	/	/
結果 (対県比)	66 (0)	72 (+2)

重点目標(何を、どの程度達成するか)	達成のための具体的取組(どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標
<p>【授業改善を通した学力・学習意欲の向上】</p> <p>○全学級において、課題に対応したまとめ、振り返りを行う。また、「振り返りのヒント」を活用した児童の振り返りと教師の価値付けによる達成感を味わわせる授業づくりを行う。</p> <p>○全学級において、「表現力を高める言葉」を活用しながら、目指す姿(資質能力)を児童と共有し、授業づくりを行う。</p> <p>○全学級において、授業やフォローアップの時間などで、児童自身が自分に合った学習活動を選択して学ぶ場を設けたりすることで、個々の学力の向上を図る。</p>	<p>①NRTの誤答分析による実態把握と改善計画の立案</p> <p>②改善計画の共有</p> <p>③毎日の読書・音読の取組</p> <p>④フォローアップの時間の内容の精選</p> <p>⑤校内研修等で取組の進捗状況を共有し、改善策を考える。</p> <p>⑥全国学テ・学習状況調査の誤答分析による実態把握し、課題から2学期からの取組を考える。</p> <p>⑦前学年までの学力調査問題における課題のある問題(アシストシート)をドリルタイムで実施し、2学期末に課題のある問題を中心とした校内テストを実施(国語・算数・理科)</p> <p>⑧全校で活用している「計算シート」、「漢字教材」、「国語教科書の物語文、説明文」を活用し、授業開始時、家庭学習等で読み上げ1分間チャレンジの実施</p> <p>⑨週に1回、漢字小テストを授業開始時に行い、直しまでその日中にやらせきる。また、学期末に校内漢字検定の実施</p> <p>⑩現学年の学力調査問題のアシストシートをドリルタイムで実施し、アシストシートを基にした類題を作成し、3学期末に校内テストを実施(国語・算数・理科)</p>	<p>①6月</p> <p>②6月</p> <p>③毎日</p> <p>④週3日</p> <p>⑤学期に1回以上</p> <p>⑥8月</p> <p>⑦9月～12月</p> <p>⑧9月～3月</p> <p>⑨9月～3月</p> <p>⑩11月～3月</p>	<p>・Q-U2回目の学習意欲の数値向上(全学級で1回目以上)</p> <p>・各単元末テスト平均(全学級85%)</p> <p>・学習アンケート 児童の自己・相互及び教職員アンケート(肯定的評価85%以上)</p> <p>・2学期末実施する課題のある問題を中心とした校内テスト正答率(80%以上)</p> <p>・読み上げシートでの初回の記録からの伸び率(90%以上)</p> <p>・校内漢字検定正答率(80%以上)</p> <p>・3学期末実施する現学年のアシストシートを基にした類題の校内テスト正答率(80%以上)</p>
<p>【学級・学習集団づくり】</p> <p>○全学級において、子どもとの定期面談を学期に1回以上実施し、暮会で確認共有できるようにする。</p> <p>○全学級において、実態に合わせたソーシャルスキルトレーニングの時間を第1金曜日に設け、実施する。また、内容を選ぶ際に生徒指導担当やスクールカウンセラーと連携して選択できるようにする。</p>	<p>①Q-Uの分析による実態把握と改善計画の立案</p> <p>②改善計画の共有</p> <p>③暮会等で、気になる児童の共有</p> <p>④校内研修等で取組を共有し、児童の様子から改善策を考える。</p>	<p>①6月</p> <p>②6月</p> <p>③毎回暮会時</p> <p>④学期に1回以上</p>	<p>・Q-U2回目の一次支援の数値向上(全学級で1回目以上)</p>